

ACKU 164 th Event

富士山 故緒方俊治君 遺品搜索

2013/6/14~16

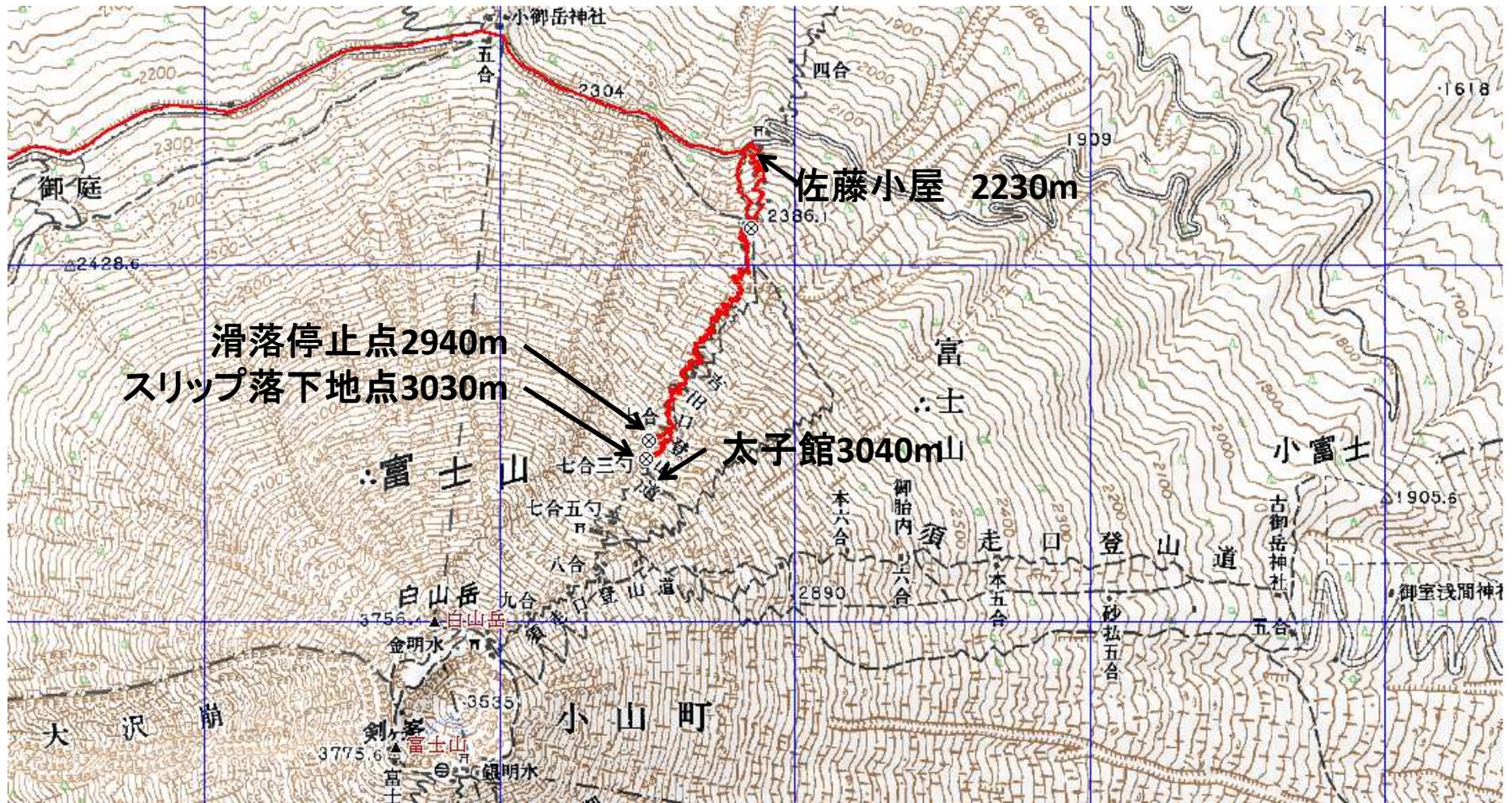


鎮魂 緒方俊治 ACKU



事故現場概要

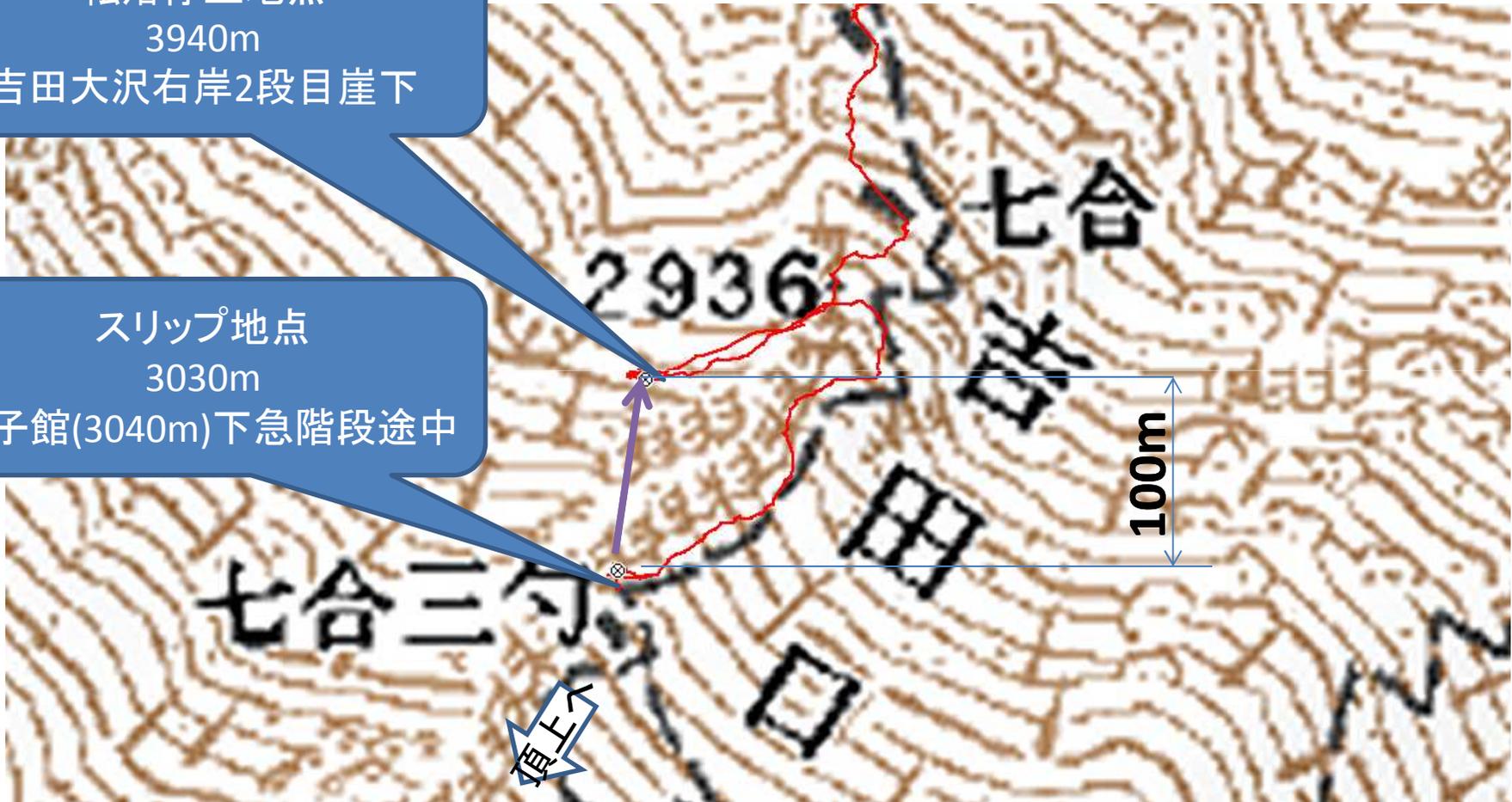
事故発生 2012/12/1



スリップ事故地点詳細

転落停止地点
3940m
吉田大沢右岸2段目崖下

スリップ地点
3030m
太子館(3040m)下急階段途中



- スリップ地点から停止点までの水平距離100m、標高差90m、滑落距離約135m
- 滑落奇跡は最大傾斜線に沿っている
- 地形図には2段の壁が明確に記されている



←スリップ事故現場の階段
事故時2012/12/1は氷化した雪に覆われて
いた。
後方の建物は大使館(七合三尺)



↑ すり抜けた鎖の外されている脇道出入
り口
事故当時、鎖は氷から少し顔を出していた。



↑ 中川が滑落後に衝突停止した岩。
わずか1mの差で中川は助かった。

↓ Fix Ropeを伝ってアイゼンなどの
遺品を捜索する中川
Ropeは一段目の崖7~8mの水壁
を垂れている
二段目の崖は上からは見えない



第164回 ACKU 例会 故緒方俊治会員遺品回収

参加者

井上達男L 和光広典 居谷千春 山田健
中川勝八郎 坂本論(山岳部)



雪溪の残る吉田大沢

行動概要

2013/6/14 佐藤小屋集結
6/15 搜索活動・頂上往復
霧時々晴れ間
15:00から霧雨
6/16 下山(雨)





落下停止地点の近くにケルンを積み、花とタバコ、バナナを供えて故緒方俊治会員の冥福をお祈り

残念ながら遺品のピッケルもアイゼンも杳として行方が分からず

遺品回収は断念したが、事故の状況が理解できる捜索活動であった。

スリップ地点が少しでも外れていたら一段目の崖を転落せずに中川のように停止していたかもしれない、と悔やまれる

また夏道で事故のあった階段のみが吉田大沢に誘い込まれる場所であり、不運で残念だ。



転落した二段目の崖と落下地点



落石の危険大のため搜索は中川と居谷に限定した



← 故緒方俊治会員生前最後の写真が撮られた富士山吉田口山頂の石塔

剣ヶ峰はガスに煙っていた

搜索終了後山頂へ

井上 居谷 山田 中川 坂本

坂本は初めての富士山頂上

和光は大使館にて待機後、雨が降り始めて単独下山





2013/6/16 富士山・故緒方俊治遺品回収山行

中川 和光 居谷 坂本 山田 井上